

Q：エビデンスレベルとは何でしょうか？

A：臨床研究の信頼性をレベルで現したものです。

EBMで「**文献の批判的吟味**」を行う場合、収集した論文の信頼性が高いかどうかを研究デザイン、掲載雑誌、検討症例数などから検討します。その中で最も重要な要素が「エビデンスレベル」になります。

下図はその一例です。それぞれについては別項で解説しますが、最もエビデンスレベルが高いのは「**1a：ランダム化比較試験のメタアナリシス**（同じ病態で行った複数のRCTを集めて解析したもの）」、次が「**1b：少なくとも一つのランダム化試験（無作為比較試験）**」になります。

逆に最もエビデンスレベルが低いのは「**6：専門家個人の意見（経験だけの発言）**」となります。また、「**5：症例報告**」もエビデンスレベルが低く、目の前の患者さんの次の治療を選択する場合には少なくともLevel 2以上のevidence levelを持った文献を参考にし、適用については個々の症例毎に判断して下さい。

Level	内容
1a	ランダム化比較試験のメタアナリシス
1b	少なくとも一つのランダム化比較試験
2a	ランダム割付を伴わない同時コントロールを伴うコホート研究（前向き研究, prospective study, concurrent cohort studyなど）
2b	ランダム割付を伴わない過去のコントロールを伴うコホート研究（historical cohort study, retrospective cohort studyなど）
3	ケース・コントロール研究（後ろ向き研究）
4	処置前後の比較などの前後比較, 対照群を伴わない研究
5	症例報告, ケースシリーズ
6	専門家個人の意見（専門家委員会報告を含む）

診療ガイドラインに採用されている「治療」に関する推奨度はグレードA～D、「推奨する治療を行うよう強く勧められる」～「行わないように」と5段階で表現されている。

グレードA	行うよう強く勧められる
グレードB	行うよう勧められる
グレードC1	行うことを考慮してもよいが、十分な科学的根拠がない
グレードC2	科学的根拠がないので、勧められない
グレードD	行わないよう勧められる